

新年明けましておめでとうございます。本年も多摩永山中学校の生徒の応援・支援をどうぞよろしく願いいたします。

今年は穏やかな元日の日を迎えて、各地で初日の出を拝むことができました。ここ最近の寒さで空気も澄み切っており富士山も雄大な姿を見せてくれています。令和4年は良い年になってほしいと願わずにはいられません。子どもたちが元気にすこやかに成長するために、コロナに気にすることなく毎日を過ごせるようになってほしいものです。3学期は、通常の学校生活に加えて、3年生は受検（験）があり、各学年が取り組む大きな行事も控えています。引き続き感染対策に協力していただき、子どもたちの健康管理に気を配っていきたいと思いますので、ご理解とご協力のほどよろしく願いいたします。

青山学院大学・優勝駅伝チーム・優勝翌日の記事から

箱根駅伝、青山学院大学チーム優勝翌日の報知新聞の記事を紹介します。

青学大の「はいしゃ復活」...けがで選手断念も歯科医を目指す石鍋颯一マネジャー

1/4(火) 6:00 配信 往路を制した青学大が5時間21分36秒の復路新、10時間43分42秒の総合新記録で完全優勝。2年ぶり6度目の王者となった。

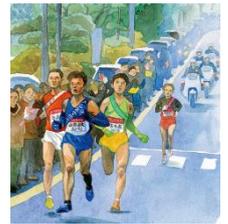
(ちなみに道德公開 win-win 国士舘 宮崎コーチ率いる駅伝チームも今年大きな活躍を見せてくれました。4区を走った三代和弥選手が1/24(月)から本校の教育実習に来ます。)

青山学院大学の「強さ」は選手だけではない。野川寛太主務(4年)を中心に21人のマネジャー陣が日々、選手をバックアップしています。

個性派の原監督率いるチームだけにマネジャーにも個性的な学生がいます。石鍋颯一マネジャー(4年)は昨年7月、猛勉強の末、国立の岡山大歯学部合格しました。この4月から、歯科医を目指して新たな道に進みます。

原監督によると「石鍋君はもともと勉強は得意だったけど、選手寮でコツコツとよく勉強していた。大したもんだ」と賛辞を贈っています。

石鍋マネジャーは神奈川・鎌倉学園高校時代にはエースとして活躍。2018年、一般受験で青学大社会情報学部に入學し、駅伝チームの門をたたきました。2年時に5000メートルで14分8秒79をマーク。3年時の20年12月、箱根駅伝登録メンバー外による1万メートル学内記録会、通称「箱根駅伝0区」では29分27秒8でチーム4位と健闘しました。最終学年の今季、最初で最後の箱根駅伝出場を目標に練習を積んでいましたが、右アキレス腱(けん)痛が悪化し、選手を断念しなければならませんでした。悔しい思いもあったでしょうが、気持ちを切り替えて昨年夏にマネジャーに転身しました。



石鍋マネジャーはこういいます。

「箱根駅伝を走りたくて青学大に入ったので、その目標を達成できなかったことは悔いが残ります」と。しかし、彼はそれでも、頑張るチームメートを献身的に支えられるように気持ちを切り替えたのです。

歯科医の父・聡さんは、心底、うれしそうに語る。

「高校を卒業したら、すぐに歯学部に進学してもらいたいと思っていたけど、本人がどうしても箱根駅伝を走りたいと言って。昨年、卒業後の進路として歯学部進学を報告に来た時はやはりうれしかった。青学大駅伝チームで過ごしたことは、颯一にとって決して回り道ではありませんでした。選手としては負けたかもしれませんが、これぞ『敗者(歯医者)復活』ですよ」

父の「オヤジギャグ」に息子は「その通りですね」と苦笑いする。石鍋マネジャーは決して「敗者」ではなく「勝者」の一員になった。(竹内 達朗 報知新聞社)

巻頭言編集後記

これから先、自分の思い描くこと、努力が報われる場合とそうでない場合とが訪れます。うまくいったときもそうでなかった時も自分の心の持ちようがまたその先の歩みに関わってきます。うまくいっている時に有頂天になって天狗になって、自分自身におごりがあつたりすることがあります。一生懸命努力したのに思うような結果が得られなかった時に、他人のせいになしたり、その時々自分が試されるときがあります。

今年もいい時もそうでないときもあるかもしれませんが、どんな時も感謝することを忘れず、つらいことがあつたとしても前を向いて進んでいきたいものです。先生たちも頑張ります。お互いに前に進んでいけるように頑張っていきましょう。

【部活動等の戦績】

◆新体操◆

- 令和3年度 第41回東京都中学校新体操
学年別新人大会
第三位 成岡 李 アンジェラ
クラブ 得点 11.300
令和3年10月30日

◆日野間税会◆

- 日野間税会主催・国税庁後援 令和3年度
第14回 「税の標語」
佳作 奥野 遙
「安心な 暮らしのための 消費税」

◆バレーボール部◆

- 第三位 多摩市中学校バレーボール大会
「第21回たまカップ」
○優秀選手賞 領毛 芹佳
会場：多摩中 令和3年12月12日

◆防災標語コンクール◆

- 学校代表 金城 春舞
「すぐ避難 まだ大丈夫は
命取り」

◆令和3年度全国中学生人権 作文コンテスト東京都大会◆

- 多摩市 NO1
作文委員会賞
「意識の変化」
佐藤 梓沙
令和3年11月28日



【3学期の主な予定】

- 永光祭展示の部（詳細は別途連絡いたします。）
1月17日（月）～1月21日（金）多目的ホール
- 多摩市公立小・中学校連合図画工作・美術展
会場 永山公民館3階 ギャラリー
および 公民館受付前のガラスケース
会期 1月23日（日）～1月30日（日）
時間 学校毎に鑑賞日時が異なります。
多摩永山中の鑑賞日時
1月27日（木） 9:00～13:00
1月29日（土） 14:30～17:00
※当日、受付票が必要です。
★ 出品作品数も例年より少なく、出品者の御家庭には、個々に御連絡いたします。

- 2年総合体験学習（東京23区内の文化財・施設）
2月4日（金） 8:30～16:30
- 新入生保護者説明会
2月7日（月） 14:30～15:30
受付は、14:00～ 多目的ホール
- 第4回定期テスト 2月24日（木）、25日（金）、
28日（月）※年度当初予定から変更してあります。
- 保護者会
3月4日（金） 14:45～15:15 予定
- 2年職場体験 現在、体験先と折衝中
3月9日（水）・10日（木）
- 3年修学旅行代替行事（横浜八景島）
3月10日（木） 8:30～16:30
- 合唱代替行事（本校体育館） 時間調整中
3年 3月16日（水）
1年 3月22日（火）
2年 3月23日（水）
- 卒業式 9:00受付 9:30～11:00予定
3月18日（金）
- 修了式
3月25日（金）

【青少協永山地区委員会によるどんど焼き】

◆1月8日（土）12時点火◆

東永山複合施設グラウンドを使用しての最後の第25回どんど焼きが行われました。点火に先立ち、青少協永山地区会長の石川良子様、市長の阿部裕行様、永山小学校校長の小島徹様からお言葉を頂き、永山小学校5・6年生によって点火されました。今後も、地域の伝統行事として継承されていくことを願っています。



【ウイルスは欠かせぬ並走者・共進化していく世界】

ウイルスは、太古の昔、私たちがバクテリアだったころから、遺伝子のやりとりをしてきた重要なパートナーという側面もありました。ウイルスが持ち込んだ遺伝子は生物に進化をもたらしました。哺乳類の胎盤はウイルス由来と言われていています。はるか昔、私たち哺乳類の祖先に感染したレトロウイルスの遺伝子が祖先の遺伝情報に組み込まれ、母体内で赤ん坊を育む胎盤という機能へ繋がったのです。人間の皮膚の保湿機能や神経伝達物質もウイルス由来です。長い年月をかけた遺伝子のやりとりのくり返りで、ウイルスと生物は共に進化してきました。生物の世界には、こうした「共進化」が至るところに見られます。植物が花粉を運んでもらえるように姿を変えたのもそうです。両者が、支え支えられたり、害し害されたりしながら共に変わっていきます。今は、コロナにやられっぱなしですが・・・（東京理科大学教授 武村 政春氏より抜粋）